

令和5年8月21日配信

文部科学記者会・科学記者会 加盟社 各位

文部科学省広報室・大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 主催

メディア懇談会 開催のお知らせ

文部科学省広報室と大学共同利用機関法人 人間文化研究機構は、文部科学記者会・科学記者会加盟社の記者の方々をお招きし、人間文化研究の最先端の研究をご紹介しますメディア懇談会を開催します。

【開催概要】

▼申込フォーム

日時：令和5年9月6日（水）11:00～12:00（10:45～受付開始）

場所：文部科学省12階 記者会見室（※オンライン配信はありません）

申込方法：下記フォームから【9月5日（火）午前9時】までにお申し込みください。

<https://forms.office.com/r/bVaZW8rvNa>



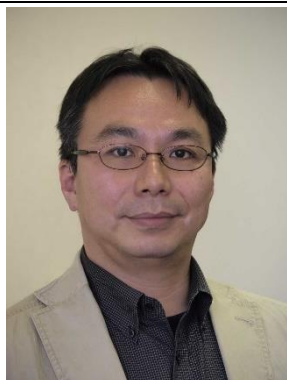
プログラム：

11:00 研究者トーク …人間文化研究機構の研究者が6名発表を行います。

11:30 質疑応答・懇談 …自由に懇談可能です。発表者以外の研究者ともお話しいただけます。

12:00 終了予定

【研究者トーク登壇者】 若手からベテランまで、6名の研究者が多様な研究活動を紹介します。



国立歴史民俗博物館
山田 慎也 教授



国文学研究資料館
松原 哲子 機関研究員



国立国語研究所
横山 詔一 教授



国際日本文化研究センター
磯田 道史 教授



総合地球環境学研究所
林 健太郎 教授



国立民族学博物館
川瀬 慈 准教授

● 研究者トーク 登壇者紹介

国立歴史民俗博物館（歴博）

氏名 山田 慎也 教授
発表テーマ 高齢多死社会における生前から死後の移行に関する統合的研究
専門分野 民俗学/文化人類学
プロフィール 国立民族学博物館 COE 研究員、東京外国語大学非常勤講師を経て、1998 年国立歴史民俗博物館研究部助手に着任。現在、研究部民俗研究系教授。総合研究大学院大学先端学術院先端学術専攻日本歴史研究コース教授併任。博士（社会学 慶應義塾大学 2000 年取得）。おもな研究テーマは、葬儀と死生観に関する研究、通過儀礼と近代化に関する研究。



国文学研究資料館（国文研）

氏名 松原 哲子 機関研究員
発表テーマ 紙質分析が古典研究になしうること ―草双紙の場合―
専門分野 日本近世文学（初期草双紙の研究）
プロフィール 実践女子大学（博士（文学））。江戸の町で展開した赤本・黒本青本（初期草双紙）の実態について、装訂や新板広告等の一次資料に拠って研究をしてきました。現在は、紙質を分析・整理することによって、後印本を含めた草双紙の享受の実態が明らかになるものと期待し、近世期板本の紙質分析に取り組んでいます。



国立国語研究所（国語研）

氏名 横山 詔一 教授
発表テーマ 日本人の読み書き能力 1948 年調査のナゾ
専門分野 心理学、社会言語学
プロフィール 日本人の読み書き能力 1948 年調査の研究のほか、新型コロナウイルス感染症の関連用語（例：ソーシャルディスタンスなど）に対する社会的許容度について解析し、その結果をプレプリントサーバーJxivと査読付き学会誌で公開している。社会言語科学会の論文賞である徳川賞を 2010 年に受賞。東京大学大学院客員教授を兼務。



国際日本文化研究センター（日文研）

氏名 磯田 道史 教授
発表テーマ 忍びの史料調査と研究・地域連携
専門分野 日本史学
プロフィール 近世中後期の幕藩政改革を研究しています。さらに東日本震災後は、歴史地震津波の史料を調べ解読し防災に役立てる試みをはじめました。また最近では、自治体と連携し、伊賀・甲賀など忍び（忍者）の古文書を調査しています。



総合地球環境学研究所（地球研）

氏名 林 健太郎 教授
発表テーマ 窒素問題もまた人間文化の問題である
専門分野 生物地球化学、土壌学、大気科学
プロフィール 北海道大学(工学修士)、東京農工大学(博士(農学))。パシフィックコンサルタンツ、産業技術総合研究所、農業環境技術研究所（現：農業・食品産業技術総合研究機構）を経て、現職。第58次日本南極地域観測隊夏隊隊員。自然科学に依拠した窒素循環研究を主としつつ、文理・分野を問わず幅広い関心を有します。窒素の持続可能な利用を目指す Sustai-N-able プロジェクト（2023～2027年度）プロジェクトリーダー。



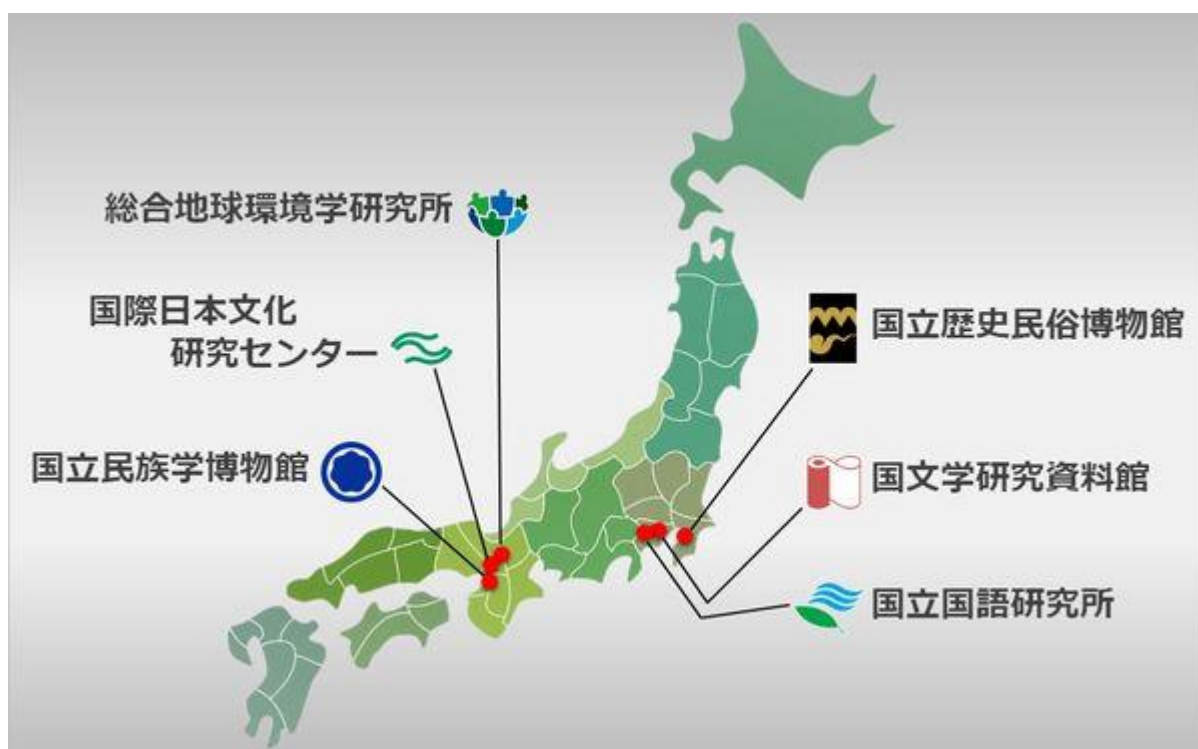
国立民族学博物館（民博）

氏名 川瀬 慈 准教授
発表テーマ 東京のエチオピア移民の音楽・宗教実践に関する映像人類学研究
専門分野 映像人類学、アフリカ地域研究
プロフィール 1977年生まれ。映像人類学者。エチオピアの吟遊詩人の研究に基づき、人類学、シネマ、アート、文学の実践の交点から創造的な語りの地平を探索。主著に『ストリートの精霊たち』（鉄犬ヘテロトピア文学賞）、『エチオピア高原の吟遊詩人 うたに生きる者たち』（サントリー学芸賞、梅棹忠夫・山と探検文学賞）、『叡智の鳥』等。オンライン学術誌 TRAJECTORIA を2019年に創設。



● 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構とは

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構(略称：人文機構)は、4つの大学共同利用機関法人のうちの1つであり、人間文化研究にかかわる6つの大学共同利用機関(国立歴史民俗博物館・国文学研究資料館・国立国語研究所・国際日本文化研究センター・総合地球環境学研究所・国立民族学博物館)で構成されています。人文機構は、機構内の機関や機構外の大学等をつなぎ、人間文化研究に関する唯一の大学共同利用機関法人として、人間文化に関わる総合的学術研究・発信に取り組んでいます。



▼申込フォーム

● 申込・問合せについて

参加申込は、前日9月5日(火)午前9時までに下記フォームからお申込みください。

<https://forms.office.com/r/bVaZW8rvNa>



※文部科学記者会・科学記者会加盟社の記者の方であればどなたでもお申込みいただけます。

本件に関するご質問等については、下記担当宛にお問い合わせください。

本件に関する問い合わせ先	
大学共同利用機関法人 人間文化研究機構	TEL 03-6402-9234, 9343
本部事務局研究企画課 広報・社会連携係	FAX 03-6402-9240
担当：木村・松本	E-mail koho@nihu.jp